

九州協建

成績評定ばらつき是正傾向

福岡県と意見交換会開催

BIMの更なる拡大を要望

（一社）建設コンサル
 タンツ協会九州支部は25
 日、福岡県と意見交換会
 「写真」を開催した。意
 見交換の各テーマのう
 ち、業務成績評定点につ
 いては、建コン協が評価
 のばらつき改善を求め
 たのに対して、県は昨年
 7月から国の基準に準じ
 た制度を導入しているこ
 とや、検証の途中段階に
 あるものの改善傾向と

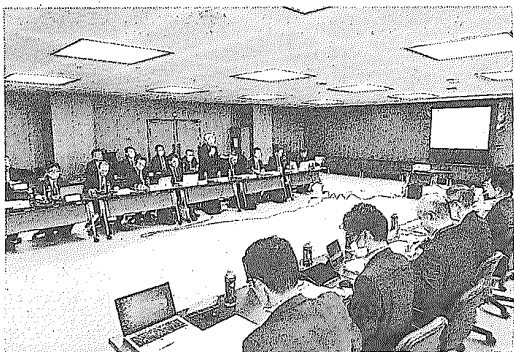
なっていることを報告し
 た。また、BIM/CI
 Mについては、県の試行
 要領策定等の取り組み
 に、建コン協が感謝の意
 を表した上で、試行業務
 をさらに増やしていくよ
 う要望した。

建コン協九州支部と九
 州各県・政令市の意見交
 換会は、毎年この時期に
 開催されているもの。福
 岡県との意見交換会に
 は、建コン協九州支部か
 ら田中清支部長や尾長谷
 孝之副支部長とともに、
 支部理事や対外活動委
 員、地元会員らが出席。
 県側は県土整備部の大隈
 徹浩次長や喜多島礼和企
 画課長、義間健二技術調
 査室長らが対応した。

意見交換会の要望およ
 び提案事項は、福岡県へ
 の個別要望となる「業務
 成績評定点のばらつき改
 善」「電子契約システム
 の導入」「随意見積の電
 子化」とともに、各県・
 政令市共通の①担い手の
 確保・育成のための環境
 整備②技術力による選定
 ③品質の確保・向上④イ
 ンフラ分野のDX推進の
 環境整備について。

「業務評定点」に関し
 ては、建コン協が同県の
 業務成績評定制度につい
 て、早期に導入されてい
 るが、他県と比較してば
 らつきが見られる一等と
 し、改善を要望。県は、
 国や他県の状況、業界か
 らの要望等を総合的に勘
 案し、昨年7月から国の
 基準に準じた評価制度を
 導入していることを説
 明。導入前後の比較に関
 しては、検証段階としな
 がらも是正傾向にあるこ
 と等を説明した。

「電子契約システム」



「随意見積の電子化」
 については、県が来年1
 月からメールによる見積
 依頼書と、見積書の提出
 の送受信を可能とするこ
 とを説明。一方、従来か
 ら建コン協が求めている

電子入札システム等を活
 用した随意見積の電子化
 については、現在、シス
 テムの検証中であること
 を報告した。

「品質確保」の項目で
 は、建コン協が『設計条
 件明示チェックシート』
 と『業務スケジュール管
 理表』の活用を要望。県
 は、チェックシート、ス
 行ったことも報告した。

ケジュール管
 理表とも、庁
 内の各種会議
 で周知を図っ
 ていくことも
 に、業者から
 の要望があれば、活用に前
 向きに取り組
 む考えを示し
 た。

「DX」の
 項目では、
 『BIM/CI
 M』につい